

豊田市議会議員

発行 令和6年1月 水野ひろふみ後援会 発行人 柴田隆広



水野ひろふみ レター -第20号-

Hirofumi Mizuno LETTER

繋ごう! 地域力

新年明けましておめでとうございます。



皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年は、皆さまの大きなご支援のおかげで「産業建設委員会 委員長」の職に就任して、財務省や国交省に豊田市全体の要望を直接伝えるに行くことが出来るなど、充実した時間を過ごすことが出来ました。この大きな経験を活かしながら、豊田市の未来が笑顔あふれ誰もが住みやすい、活力のある元気な町になるよう尽力させていただきます。その為にも私たちが暮らす地域の課題を再確認し、地域の特性を生かした町づくりを行なっていくことが重要だと考えます。そして、今まで通りのスタイルを変えることなく、地域に赴き、皆さまの声をしっかり聴きながら行動をすることとし、本年度の言葉を「万里一空(ばんりいっくう)」とし、目的や目標などやるべきことを見失わず励む覚悟で力の限り努力して参ります。結びに、これからも市政発展のために、ご指導、ご鞭撻を頂きますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとっても、素晴らしい年でありますことを心よりご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

今年の言葉

ばんりいっくう

万里一空

豊田市議会議員 水野ひろふみ



▲ 国土交通省入口



▲ 財務省入口



▲ 財務省主計局長への要望



▲ 八木哲也副大臣国政報告会



▲ 日韓親善協会で菅前首相と面会



▲ 産業建設委員会の行政視察



定例会 一般質問

12月5日(火)

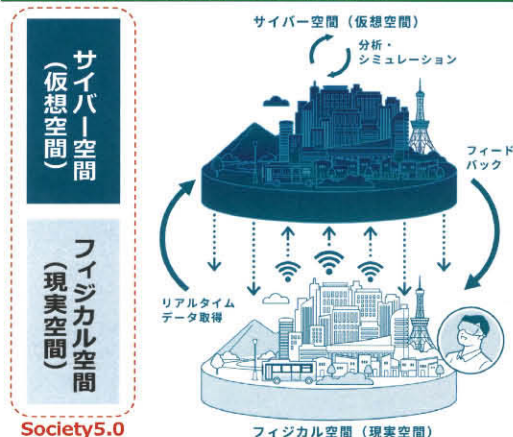
質問

1

デジタルツインと メタバースの違いについて

- デジタルツインは一般的に、現実空間に実在しているものをデジタル化し、仮想空間でリアルに表現したものである。デジタル技術を活用して、現実空間の仕組みなどをツイン、すなわち双子という言葉のとおり、仮想空間にそのまま再現することで、精度の高いシミュレーションを可能にするもの。
- 一方、メタバースは、インターネット上に構築された3Dの仮想空間であり、現実空間に実在しないような空間も仮想空間に表現したり、アバターと呼ばれるユーザーの分身などを介した交流・経済活動が行われている。

デジタルツインの概念



質問の骨子

政府は、「デジタル田園都市国家構想」を発表し、デジタル実装を通じて地方が抱える課題を解決し、誰一人取り残されず、すべての人がデジタル化のメリットを享受できる心豊かな暮らしを実現する構想とした。この構想により、デジタル社会が到来し、デジタル基盤上に、官民が連携しながらの社会課題の解決や魅力向上を図っていく必要があるため、本市のデジタル活用の現状を確認する。

質問

2

3次元点群データの概要と目的について

3Dレーザースキャナ等による計測で取得されるデータの一つが点群データ。

点群データは点の集まりを指し、3次元座標で表現されるデータで様々な用途に高精度で活用することができる。点群データの活用例は、高速道路・橋梁・トンネルなどのインフラ構造物の点検、災害による被害確認、地図作成、重要文化財のデジタルアーカイブなど様々な目的・用途に活用できる。

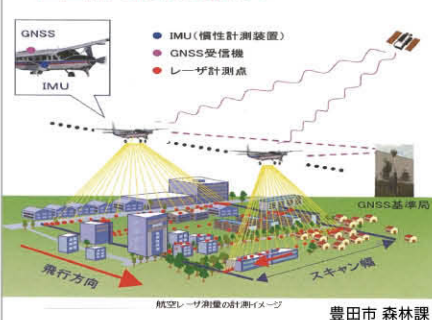
質問

3

森林施策での デジタル技術活用の考えについて

- 森林施策の推進に向け、デジタル技術の活用は、森づくり団地の団地化作業や林道の整備・管理など業務の効率化や安全性の向上に有効。さらなる活用には、精度や解析などの技術面、コスト面などの課題がある。
- 森林施策に関するデジタル技術は、日々進化しており、航空レーザ計測だけでなく、ドローンなど無人航空機からのレーザや、地上に設置した3次元スキャナからのレーザ、また、航空写真や衛星写真、地上画像解析などデジタル技術の特徴を精査し、適宜活用していく考え。

航空レーザ測量(デジタル測量) →豊田市で使用事例ない



地域の イベント

令和5年も多くの地域イベントにご招待いただき、皆さまとの交流ができたことが本当に嬉しく思います。当たり前の世の中がこれからも続いてくれることを願います。



▲ 日本ボッチャ協会トヨタカッブ



▲ 益富ふれあいフェスタ



▲ 森町敬老会



▲ 古瀬間町白山神社お祭り

質問

4

デジタル技術を活用した 橋りょう管理の実証の概要は

- 民間企業と連携し新たな技術の実証を行っている。具体的には、3Dスキャナーにより取得した3次元点群データと、これまでの定期点検などで蓄積した過去の写真データを3Dモデル化し、現在と過去の損傷を3Dモデルで比較分析することで、その劣化進行の将来予測を行うものである。
- 期待する効果は、橋梁点検車などを使う従来のような大掛かりな点検作業が不要となり、損傷の劣化予測が可能となることで、予防保全的な観点での適切な修繕時期の把握につながり、効率的で持続可能な維持管理に貢献すると期待している。

災害時の浸水・内水氾濫シミュレーション

都市の浸水状況や地下水などの状況を
センシング・可視化し予兆を把握



(出所)国土交通省 PLATEAUAR を活用した災害リスク可視化ツール

提言

「3次元点群データでの豊田市全体のデジタルツインを早期に完成させること」を提言する

質問

5

3次元点群データを活用した 実証実験の進捗状況は

- 進捗状況は、小型の3Dレーザースキャナーを設置した道路パトロール車2台により、道路付属物を含む市道空間と沿線の地形地物の3次元点群データの取得を進めており、市道延長約2,600kmのうち、今回の実証対象である約1,900kmにおいて、令和5年12月末までに完了する予定。
- 併せて、取得したデータの解析を行い、道路通行空間を侵す支障木等の検知や、道路標識を始め道路付属物の設置位置や高さなどを立体的に捉えたデータ抽出を進めており、令和6年2月末に実証実験を完了する予定。

3Dレーザースキャナー



質問

6

本市のデジタルツイン都市 構築の方向性は

- デジタルツインの取組として国交省が進める「PLATEAU(プラトー)」の活用や、3次元点群データの取得及び活用検討をスタートしたところ。現状においては国土交通省の補助事業なども活用しているが、全市的に運用していくには、運用・管理・費用面からの課題の精査も必要。
- 本市としては、国土交通省が進める3D都市モデル及び3次元点群データの活用の考え方、デジタル田園都市国家構想での位置づけ、他自治体の取組や広域での連携なども踏まえ、魅力的なまちづくりにつながるような取組への活用を引き続き検証するとともに、**豊田市としての活用はデジタル化推進本部会議での議論を踏まえて取組を加速していく。**



▲マイタウンおいでん in 豊スタ



▲御立町鷲取神社お祭り



▲美里ふれあいフェスタ



▲野見山ウォークパトロール隊



▲大見町ふれあいカフェ



▲広川町民のつどい



後援会 マレットゴルフ大会

秋の日帰り旅行は計画できませんでした
が、今年2度目の後援会マレットゴルフ大会
に関わらず多くの地域の皆様のご参加に
感謝です。



▲ マレットゴルフ益富大会



▲ 後援会役員



▲ マレットゴルフ美里大会

地域課題

市や県の職員と連
携しながら様々な現
場に赴き、各自治区
区長さんや役員さん
に地域の課題を教え
て頂きました。



▲ 宝来町歩道拡幅



▲ 志賀町土砂対策



▲ 美里1区歩道整備



▲ 大見町急傾斜説明会



▲ 御立町県道段差整備



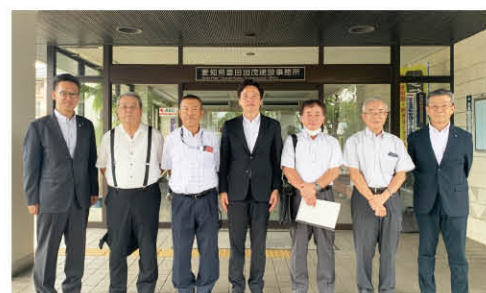
▲ 広川町U字溝新設整備

鈴木雅博県議と タッグを組んで

令和5年も鈴木県議と
一緒に、愛知県庁や豊田
加茂建設事務所に豊田
市及び、地域課題の要
望活動を行いました。



▲ 愛知県要望活動



▲ 豊田加茂建設事務所要望活動



市政のご意見・相談はこちらまで - みなさまのご意見・ご要望をお気軽にお聞かせください -

TEL (0565) 89-7515 FAX (0565) 85-8295

WEB <https://mizuno-hirofumi.jp/> E-mail letter@mizuno-hirofumi.jp

【水野ひろふみ後援会事務所】 〒471-0805 豊田市美里6丁目6-6 ミタチ家具内

何でも目安箱

家具センターミタチ
入口の目安箱に投函
ください。